



第218号

令和元年11月10日号

社会福祉法人 一誠福祉会

〒441-8066 豊橋市王ヶ崎町字上原1番地145
TEL (0532) 48-5111・FAX (0532) 48-5112



百寿を超えられた入所者さんを穂積新城市長が表敬訪問 於 特別養護老人ホーム 麗楽荘

随筆	2
毎日が敬老の日 社会福祉法人一誠福祉会理事長 滝川 一 亮	2
労働問題 働き方改革の内容と背景 アイエス社労士事務所所長 伊藤 悟	3
敬老の日の行事 長寿祝賀会に参加して 特別養護老人ホーム作楽荘生活相談員 鈴木 孝政	4
いつまでもお元気で ケアハウス美光ハイム介護士 萩森 明子	5
日頃の感謝を込めたおもてなし ベルビューハイムケア介護士 萩本 英樹	6
令和初、麗楽荘グループ合同長寿祝賀会を開催して ケアハウス和光ハイム相談員 相山由里子	8
職員旅行 木の花会初の日帰り旅行に取り組んで 地域包括支援センター作楽荘社会福祉士 白井 寛	9
初めての職員旅行 特養作楽荘管理栄養士 柵木 祐紀	10
大阪を満喫 老健ヘルプハイム理学療法士 山本 祥子	10
事業所紹介 アイデアいっぱい楽しいデイ デイサービスセンター麗楽荘介護士 小林 真紀	10
施設だより	11
*作 楽 荘 柱保育園慰問 特養介護士 鈴木 孝典	11
ぶどう狩り 特養介護士 高瀬 秀斗	11
*美光ハイム 豊橋信金作品展に出席 生活相談員 有島 美香	11
*倶 楽 荘 くらまつり介護士 夏目 佳和	11
*GHくらら 大好きなお寿司で笑顔 介護士 西村まゆみ	11
*ス 楽 荘 ユニットケア実践中 介護士 加藤 瑠華	11
*ベルビューハイム 小さな植物園 事務員 永田 恵里	11
自力排便を促すために 介護士 鈴木 祐子	11
*DSC吉かわ 令和の秋 介護士 奥山 景子	11
*麗 楽 荘 表敬訪問 介護士 篠宮 純子	11
*デイサービス麗楽荘 加庄トレーニング体験 介護士 中島 正江	11
*和光ハイム オバケかぼちゃ 事務員 四丸奈緒美	11
*GHくらら 作品展に出席しました 介護士 今泉早央里	11
*奇 楽 荘 「安全に食べる」とは介護士 桑山 恵利	11
*GHくらら ハゼ釣りを満喫 介護士 横井 佑二	11
哀悼 八田先生を偲ぶ 介護士 横井 佑二	11
施設日誌／編集後記	18

随 筆

毎日が敬老の日

社会福祉法人一誠福祉会理事長 滝 川 一 亮

平成から令和となって、はや半年が過ぎました。当法人も今年度の事業計画として、

一. 人材確保

二. 在宅事業部門の強化

三. 施設の整備

の三つを重点目標に掲げて取り組んでまいりました。十分な成果をあげるまでには至っておりませんが、残りの半年間で達成できる様、努力してまいる所存です。

法人内の半年間の出来事の中で、特に私の記憶に残っているのは敬老会です。当法人では、開設当初から敬老の日には入

居者の皆様のさらなるご健康を願い、長寿を寿ぐ敬老会を催しております。

今年も、ボランティアの方々による心のこもった素晴らしい太鼓や演奏、歌舞伎などを利用者の皆様と一緒に楽しませて頂きました。ボランティアの方々には折角の休みを返上して、毎回一生懸命アトラクションをしてくださります。おかげさまで今年も盛会のうちに会を終える事ができました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。アトラクションの中で、当法人の職員も歌や踊り

を披露してくれました。

今年はソーラン節を男女混合チームが舞台の上で飛んだり跳ねたりしながら踊る様に圧倒されました。職員による出し物は十年程前から始まったのですが、当時の前理事長が「今のはうちの職員か？すごいじゃないか」。こんな事ができるんだなあ。未来は明るいぞ！」と目を丸くして驚き、感動していたと人づてに聞きました。今回の敬老会でも、目立たないところで一生懸命裏方に徹してくれた職員、慣れない司会で緊張しながらも頑張っていた職員、時間配分を気にしていた職員、入所者の方々の体調に気を配り、優しく付き添って

トイレに誘導している職員等、みんなが主役の1日でした。

当日のスピーチでも申し上げたエピソードとして、敬老の日にプレゼントを父に持っていた時の事が記憶に残っています。その時、喜ぶとばかり思っていた父に、「毎日が敬老の日だ」。ばかもの！と却って怒られた事がありました。「毎日が敬老の日」と言われてみれば確かにその通りです。ただ、口でいうのは簡単で、実際にその気持を持続させ、尚且つ実践するというのは大変です。しかし、その気持ちを常に忘れず、職員一同頑張つてまいりたいと存じます。

労働問題

働き方改革の内容と背景

アイエス社労士事務所 所長 伊藤 悟

日本はいま急激に少子高齢化が進んでいます。

今年の10月時点で65歳以上の高齢者は、約3600万人、総人口に占める割合は既に約29%となっています。もう3人に1人が65歳なのです。さらに2050年代には人口が1億人を割ってしまします。働き方改革は単に働き過ぎを解消して、過労死や悲しい労働問題をなくしましょう、というだけではないのです。こうした急激な人口変化を背景に、今から対応をしていかないと日本経済がもたなくなると考えられ、働き方改革が策定され進んでいます。その内容は

カテゴリ別に以下の通りです。①労働時間の短縮等の労働環境の整備（残業の上限規制や有給休暇の取得義務化）②雇用形態又は就業形態の異なる労働者の間の均衡のとれた待遇の確保（同一労働同一賃金制度）③多様な人材の活躍推進（女性、若者、高齢者、障がい者の活躍推進）④育児・介護又は治療と仕事の両立支援（育児介護やがん患者の就労支援等）⑤人的資本の質の向上と職業能力評価の充実（リカレント教育推進）、⑥転職・再就職支援・職業紹介等に関する施策の充実、と多岐に渡っています。

す。いかがでしょうか。こうしてしてみると、「さまざまな立場の方多くの人の協力によって、会社も労働者も、お互いに皆で力を合わせてこれから訪れる困難な時期を乗り切りましょう」というような内容になっていると思います。冒頭にも申し上げた通り、人口が確実に減少するという要因のほかに、以下のような課題が日本社会にあると考えられます。年金受給者が増え、就労者が減ることにより、国家の所得税等の税収が減ることのほか、各家庭においても、昔より費用のかかる消費が増えていることから、働かなければ年金だけでは生活できません。国家財政（収入）を安定させ、か

つ国民の側も消費に対応できる収入を確保したい、そんな思惑があるのです。そして家庭の在り方も変化しています。高齢者だけの世帯や離婚した家庭が増え、独身者も増えています。もう、日本社会の家の在り方は昔とは異なっているのです。日本は生活のレベルは世界の中でも高いほうですが、そのレベルを落とすたくない、と考える人がきつと多いでしょう。地球温暖化による気象の変化にも留意が必要です。今後も「史上初」とか、「今までに経験したことのない」などのフレーズのニュースが増えてくることと思います。今後の社会の在り方に「備えていくこと」それが働き方改革に現れています。

敬老の日の行事

長寿祝賀会に参加して

特別養護老人ホーム作楽荘生活相談員副主任 鈴木孝政

令和元年9月16日の敬老の日、新元号となった初めての長寿祝賀会に司会進行役として参加させて頂きました。

現在、作楽荘では100名の方が入所され、平均年齢は85歳となっています。当日の長寿祝賀会には今年も多数の来賓の方に足をお運び頂き、大変賑やかに会を催すことができました。

長寿祝賀会は荘長の開会の辞で幕を開けました。理事長はじめ来賓の方々から挨拶・祝辞を頂戴し、次いで敬老記念品の贈呈では、100歳の伊藤初子様



滝川理事長による挨拶

を筆頭に今年88歳(米寿)になられる5名の該当者の名前が読み上げられ、会場は大きな拍手で沸き上がりました。その後も、プレゼントの贈呈、お年寄り代表の謝辞等と、肅々と会は進行しました。

第2部のアトラクシヨ

ンでは、作楽荘職員有志による踊り、「よつちよれ」とやぐるま太鼓の皆様による和太鼓演奏が披露されました。

職員による「よつちよれ」は、参加職員が仕事終わりに連日連夜の練習を重ね、この日を迎えたそうです。勇壮に踊るその姿は練習の成果を遺憾なく発揮出来ていたと思います。そして、やぐるま太鼓の皆様は迫力のある和太鼓の演奏を披露されました。

アトラクシヨンに参加された入所者の方々からは自然と笑みがこぼれていました。

敬老の日について調べてみると国民の祝日に関する法律第2条に、「多年

にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う」と記載されています。当日はその意味を再確認する良い機会となりました。祝日にも関わらず多くの方に祝賀会に参加してもらえたことは大変喜ばしいことでした。



練習の甲斐がありました

今年も皆様方の協力で、長寿祝賀会にて長寿を祝うことが出来、多くの笑顔を見られたことを嬉しく思いました。

いつまでもお元気で

ケアハウス美光ハイム 介護士 萩 森 明 子



9月16日、美光ハイム6階に於いて敬老会が行われました。現在、美光ハイムには30名の方が入居されています。ちなみに、美光ハイムにおける最高齢の方は95歳、最若齢の方は67歳と、年齢の幅こそありますが、お互いに助け合いながら楽しく生活をしていらつしやいます。

ハウス長による開会の辞を皮切りに理事長からのご挨拶、来賓の方々からのご祝辞がありました。毎年恒例として、美光ハイムより入居者の皆さんへプレゼントをお渡ししております。今年も皆さん

からの希望を募ったところ、洗濯槽の清掃の希望が多く、3台ともこれを機にメンテナンスが出来ました。毎日洗濯をされる方も多く、これから今まで以上に気持ち良く洗濯して頂けると感じました。



早くご馳走を食べたいね

次に美光会会長の青山邦雄さんからお礼の言葉

を頂いた後、祝宴開始です。ご馳走を囲み、しばしの歓談。いつもより豪華な祝い膳を提供させて頂き、普段は少量しか召し上がらない入居者の方も、この日ばかりは箸が進んでいったように思いました。



子どもさん達とリズム遊び

アトラクションでは、「才能教育研究会」の黒田先生と生徒さんによるヴァイオリン演奏、森田麻里子先生とお子さん達による歌と踊りを披露し

て頂きました。小さな踊り子さん達による一生懸命の演舞に、目をキラキラと輝かせながら見入っておられました。「来年もまた来てね」と、入居者の皆さんがお子さんにラブコール。今から来年の敬老会が楽しみです。敬老会が終わった後に恒例の記念撮影。皆さんいい顔していますよね。これからも、入居者の皆さんが笑顔で生活して頂けるよう努めて参ります。



全員ではい「にっこり」

日頃の感謝を込めたおもてなし

ベルビューハイツデイケア 介護士副主任 萩 本 英 樹

9月16日の敬老の日に敬老会を開催しました。

当日参加されたのは入所者75名、デイケアご利用者30名。1階のデイルームに集い式典とアトラクションが催されました。

入所されている方の平均年齢は女性が87歳、男性が85歳となります。最高年齢の方は女性で101歳、男性では97歳です。

デイケアご利用者の平均年齢は女性が83歳、男性が80歳となり、最高年齢の方は、96歳の方がお二人いらっしゃいます。

長年、社会やご家族のために尽くしてこられ、今も私たちの人生の先輩

として色々なことを教えて下さる皆さんに感謝の意を込めて、今回企画いたしました。

まずは、施設長から感謝の花束と記念品をお渡しさせて頂き、その後、ご利用者代表より謝辞の言葉を頂きました。



ご利用者代表謝辞

式典が終了後、お楽しみのアトラクションです。今年はベルビューハイツ



馴染みの曲で盛り上がり

のお隣にある豊橋西高校の吹奏楽部による演奏と、地元の吉川太鼓「鼓流」による和太鼓演奏を披露して頂きました。豊橋西高校の生徒さんは童謡から懐かしい歌謡曲メドレーを演奏してくれました。童謡では口ずさむ声が聞こえ、歌謡曲メドレーでは楽しそうに手拍子をされる方の笑顔も見られて、こちらも自然と笑みがこぼれました。

鼓流の和太鼓演奏では、



歌唱力バツグンの佐藤様

迫力のある和太鼓の音が全身に響きわたり、いつ聴いても感動します。皆さんが涙を流して聴いている姿が印象的でした。また、特別ゲストの佐藤朱美様から歌のプレゼントがあり、会場が一気に盛り上がりました。

最後に理事長からお言葉を頂き終了となりました。来年もこの日が迎えられるように、お元気で長生きしていただきたいと心から願っております。

令和初、麗楽荘グループ

合同長寿祝賀会を開催して

ケアハウス和光ハイム相談員主任 相山 由里子



敬老の日の由来とは、

古くは聖徳太子が大阪に
「老人ホーム」のような
物を建設したのが9月15
日とされる説。1947
年兵庫県のある村で「年
寄りの知恵を借りて村作
りをしよう」と村主催の
「敬老会」を開催したの
が9月15日とされる説な
ど諸説あります。

そして、1966年(昭
和41年)9月15日が「敬
老の日」として国民の祝
日に制定され、2003
年より9月の第3月曜日
が祝日になりました。

新城市内で開催される
敬老会は地区主催、老人

クラブ主催、地域のミニ
デイ主催の3回行われる
地区があり、招待される
側は3回目には欠席し、
「記念品だけ頂戴」と言
われる方も。また招待さ
れる年齢は地域によって
異なりますが、80歳から
招待される地域が多いよ
うです。

ケアハウス和光ハイム
と麗楽荘では以前から同
日にそれぞれの会場で式
典を行っておりしました。
昨年より和光ハイム入居
者に聞き取りを行った結
果、ほとんどの方が合同
長寿祝賀会に肯定的であ
り、式典を別々にやるよ

りも合同で行いたいとい
う意見が多く聞かれたた
め、今年は合同で開催す
ることとなりました。



代表挨拶くらい任せという

令和元年初の長寿祝賀
会は麗楽荘グループが一
斉に集まり、壮大かつ荘
重な式典となりました。
昂然と胸を張ってお礼の
言葉を述べて下さった和
光ハイム入居者の男性は
同じく特養代表で前列に
座られた男性の年齢を聞
き、「僕の隣のおじいさ

んは105歳だったよ」と暫
くの間驚いていらつしゃ
いました。そんな交流が
出来るのも合同で長寿祝
賀会を実施出来たからこ
そ。

式典後のアトラクショ
ンでは「島民謡会」の皆
様が7人一斉に三味線を
演奏する迫力と、誰でも
一緒に歌える馴染みのあ
る選曲で祝賀会場を一気
に盛り上げて下さいまし
た。また、「山・白子子
供歌舞伎」の演目はしつ
かり見栄を切るので、お
ひねりを投げるタイミン
グが分かりやすく、和光
ハイムの入居者は席を立
ち、舞台へ近づきおひね
りを一生懸命投げ入れて
いました。(よっ！成田
屋！播磨屋！)

職員旅行

木の花会初の日帰り旅行に取り組んで

地域包括支援センター作楽荘社会福祉士主任 白井 覚

私は今年度、当法人の職員福利厚生会（木の花会）の幹事になりました。毎年、各施設から選ばれた幹事職員が中心となつて、一泊二日の旅行を企画するのが通例となつており、実に平成四年から二十年以上続いている大切なイベントです。

昨年度、全職員に対して旅行の行き先についてアンケートを取った際に、「日帰り旅行」を希望する意見が非常に多かったことを受け、今年度は「日帰り旅行」についても検討することになりました。何分、当法人始まって以

来の初の試みなので、「旅行日程をどのように組んでいけば良いのか」「実際に日帰り旅行に参加してくれる職員が本当にいるのか」等、大変不安を抱えながら、定期的に幹事会を開催し、話し合いを重ねてきました。四百人弱の全職員のうち、ここ数年の参加者は一六〇人程に留まっていた。本来は全員に参加してもらい、親睦を図っていたきたいのですが、勤務・家庭の事情や体調等により、やむなく参加できない職員がいたことも事実です。一人で

も多くの方に参加していただきたいという想いで取り組みは進み、結果として今年度は一泊二日プランと日帰りプランが混在した旅行日程になりました。そして、旅行会社にプレゼンテーションしてもらい、幹事会で投票したうえで、豊鉄観光さんの考案した、「京都方面 舞妓さん京舞鑑賞と世界遺産・下鴨神社」というコースに決まりました。



京都においてやす

早速、職員に行き先決定通知と旅行日程の希望

を取りました。すると他部署の職員から、「今年は日帰り旅行もあるだね！私、日帰りなら行ける」という声を聞き、とてもうれしかったです。集計をしてみると、例年一泊二日旅行では欠席していた職員が、日帰りプランに多く参加してくれ、併せて二百人程の参加がありました。幾度となく検討した苦労は報われました。さらに一人でも多くの職員が参加できるように楽しい企画が実現されますよう、次期幹事に託したいと思います。親睦を図る絶好の機会となる職員旅行、この先も長く続いていくことを切に願うばかりです。

初めての職員旅行

特養作楽荘
管理栄養士 柵木 祐紀

昨年の九月に一誠福祉会に入職し早一年、初めて職員旅行に参加しました。今回の一泊二日旅行は大阪方面でUSJコース、天保山・海遊館コースの選択となっており、私は天保山・海遊館コースへ行って参りました。一日目は海遊館、二日目は大阪城・あべのハルカスといった大阪の名所を回りました。海遊館では巨大な水槽で悠然と泳ぐジンベイザメが印象に残っています。あべのハルカスでは天候にも恵まれ、300メートルの展望台から大阪の各名所を一望出来たことに感動し

ました。

食事は好み焼き・串カツ・たこ焼き等々、大変美味しく頂きました。特に串カツは衣が薄くサクサクとして、ソースとの相性も抜群でした。

今回の職員旅行で何より素晴らしかったのは普段の生活から離れてリフレッシュ出来た事は勿論ですが、他施設の職員の方々と交流が出来た事や他施設での仕事内容を知る事が出来たことです。視野が広がり、日々の業務にも大変プラスとなりました。



通天閣を目指し

大阪を満喫

老健ベルヴューハイツ
理学療法士 山本 祥子

今回私は10月15・16日、職員旅行の第1班として大阪に向かいました。直前に台風が発生し天気が心配されましたが、幸いにして豊橋や大阪付近は大きな被害を受けることもなく、当日は台風一過の晴天に恵まれました。

1日目はUSJと天保山方面に別れての別行動です。USJではハロウインの前ということもあって、普段とは違う姿のキャラクター達が出迎えてくれ楽しむことが出来ました。

2日目は大阪城からあべのハルカスに向かい、通天閣周辺の散策を楽し

んでから帰路に就くコースでした。私は歴史が好きなので、大阪城内で貴重な書状を見ることができて嬉しかったです。また、外から見る大阪城は、かつての城主豊臣秀吉の勢いと権力を感じさせる素晴らしい景色でした。



歴女、感激！

今回の職員旅行は幹事としてのプレッシャーもありましたが、諸先輩方や同じく幹事として旅行に参加していた倶楽荘の菅原さんにも助けられ、楽しく無事に終えることが出来ました。ありがとうございました。

事業所紹介

アイデアいっぱい楽しいデイ

デイサービスセンター麗楽荘 介護士副主任 小林 真 紀

麗楽荘のデイサービスでは、個性豊かな職員がそれぞれの個性を生かしています。

大好評の手芸教室は担当職員が利用者の方に合うようにアレンジして提供しています。ガーランド（造花や旗をつなげた壁飾り）で流行を取り入れたりしています。私達はおしゃれな雑貨屋等で見慣れています。利用者の方は、「そりや何するものだん？」と驚いていました。また、暑い日には保冷剤を入れ、首に巻く『ひんやりスカーフ』を作りました。昔は何でも手作りされた世代の方

ばかりの為、スカーフの直線縫いはお手のもので、ついでおしゃべりも弾みます。

毎日、新聞を読み聞かせする職員は、わざと読み間違えをし、そのうえダジャレを入れ込んで笑いを誘います。中には職員でも聞き逃してしまいうような間違いを、さかさ指摘される方もみえます。その日の時事ネタやこの地方のニュースを選んでもくれるので、利用者の方も関心が高いようです。

ぬり絵や脳トレプリントを毎日準備する職員もいます。ネットや雑誌か

ら利用者の方が好みそうなものや季節や行事を考慮して選び、提供します。時には難しい漢字やクロスワードを利用者の方と職員が知恵を絞って考えることもあります。

マイクのいらぬ元気な職員もいます。「あんなは元気がいいのん」と、利用者の方も笑顔になります。元気が良いだけではなく、おしゃべりしながら心配ごとを聞いたり、体調の変化にも気にかけてくれています。「良い子だね」と、娘のように可愛がってくださる方もみえます。

私は保育園に勤めていた経験を生かし、リズム体操や指体操（手遊び）を紹介しています。利用者の方がなじみやすい演歌

や懐メロを選んでいきます。「きよしのソーラン節」「東京ラプソディー」「いい湯だな」「瀬戸の花嫁」「あゝ人生に涙あり（水戸黄門の主題歌）」等々：これからもレパートリーを増やしていきたいと思っています。

個性豊かな職員が明るく楽しい雰囲気作りをして「デイに来るのが楽しい」と言っていただけのように、一層工夫したいと思うと思います。



あずま袋も作ったぞん！

施設だより

作楽荘

○柱保育園慰問

特養介護士副主任 鈴木孝典

10月9日、柱保育園から大勢の園児が作楽荘へ慰問に来てくれました。以前より定期的に親交があり、今年も本館と新館に分かれ園児達と交流を深めました。

園児の皆さんは、歌や踊りを元気いっぱい披露してくれました。更に園児の微笑ましい交流場面もありました。それは、じゃんけんをして勝っても負けても肩たたきをしてもらったり、歌に合わせてお互いをくすぐったりしたことです。そんな場面を見ていた入所者の

方たちはとても楽しそうでした。

最後に園児から入所者さん一人ひとりにプレゼントを手渡しして頂き、皆さん大変顔が綻んでいました。



楽しくふれあいました

今回、園児の皆さんの慰問をとおして、普段あまり見る事が出来ない入所者さんの表情をみられ、お年寄りにとって子供の存在は大きいものだと思えて実感しました。

先生方と園児の皆さん、楽しい時間をありがとうございました。

○ぶどう狩り

特養介護士 高瀬秀斗

9月11日、外出行事で岡崎市の三国農園へぶどう狩りに出かけました。

行事委員会の副委員長として今回企画をすることなり、何かと初めてでわからないことだらけでしたが、職場の先輩方からアドバイスを頂き企画書を作成することが出来ました。

当日は目的地に向かう途中で雨が降りましたが徐々に回復し、着いたころには晴れ、ほっと胸を撫でおろしました。

早速ぶどう狩りを始めると皆さん一心不乱に好みの大きさ・色のぶどうを採っていました。

お昼ご飯は農園が用意してくれた具材を使い職員が鉄板の上でバーベキューを行いました。少々焦げたお肉や野菜も気にせず美味しく食べるに食べていました。

帰り際にぶどうのお土産をたくさん買っていただける方がいて、お買い物も楽しまれました。

車中で皆さんにお話を伺うと、「楽しかったよ」「また行きたいね」とうれしい言葉が返ってきました。私もがんばって企画した甲斐がありました。



どれが甘いかのう

美光ハイム

○豊橋信金作品展に出席

生活相談員 有島美香

八月下旬、まだ残暑も厳しい折、今年も豊橋信用金庫から倶楽部活動の成果を披露する作品展へのお話を頂きました。

ガラス絵倶楽部、書道倶楽部に参加されている入居者の方へお話をし、出品物を選んで頂きました。なかには少し戸惑いながらも嬉しそうに選ばれている方もみえました。「こつちの方がいいかね」「どうしようかね」と大変楽しそうな光景が見受けられました。

ガラス絵倶楽部の方は昨年も出品されており、何カ月も前から作品に取組まれ、とても繊細に、

かつ丁寧に色鮮やかに作成準備される様子が伺えました。

入居者の方々を豊橋信用金庫へお連れして、ご自身の作品の展示をご覧頂きました。会場はロビーの壁中央に飾り付けてありました。「わあー、きれい」「ちゃんと飾って頂いて」と皆さん、とても嬉しそうに眺められていました。今後も入居者の方々のやり甲斐を感じて頂くように取組んで参りたいと思います。



作品の前でスマイル

倶楽荘

○くららまつり

介護士副主任 夏目佳和

9月25日、くららまつりが特養・グループホーム合同で2階セミパブリックスペースにて行われました。

入居者の皆さんがいかに楽しんでいただけるか、7月から行事委員会で企画・準備を進めて参りました。

普段同じユニットの中で過ごす事の多い皆さんもこの日は他のユニットの方と食事を楽しみながら交流を図りました。メニューはうどん・たこ焼き・みたらし団子・ポテト・フルーチェと盛り沢山で好評でした。

職員の法被姿や会場を

飾った提灯などは、「お祭り」の演出を引き出し、皆さんの気分を盛り上げます。



提灯が祭りを演出します

今年の催し物は「カラオケ会」です。「私は聴く専門だよ」と言っていた入居者も懐かしい歌謡曲や唱歌が流れると一緒に口ずさみ、ワイワイと楽しく時が流れました。これから入居者の皆さんに楽しんでもらえるような行事を企画していきたいと考えています。

GHくらら

○大好きなお寿司で笑顔

介護士 西村まゆみ

食欲の秋に向けて外食に出掛ける事にしました。入居者の希望に添ったお店へ行く事を目的に「何が食べたいですか?」と尋ねると「まあ、何でもいいわ。」と初めは、あまり乗り気でないような返事でした。「せっかくだから、行きましよう。」と言うと「お寿司かなあ…」との事で回転寿司に行く事にしました。

到着すると、徐々に顔の筋肉が緩み始め笑顔になっていくのが分かりました。「ほー、回ってくるだね!どうするだん?」と興味津々になり「マグロがいいね!ト

ロもいいね!」と回ってくるお寿司を見ては「取ってもいいかん? あんたも要るかん?」と嬉しそうに自分の好きなお寿司を取り食べていました。帰りの車中では「おいしかったね。たまにはいいねえ。」と嬉しそうに何度もお話されておりました。

とても満足のいく一日になったようで素敵な笑顔を見る事が出来、本当に良かったと思います。



大好きなお寿司で大満足

ス楽荘

○ユニットケア実践中

介護士 加藤瑠華

ス楽荘に異動してはや一年と三ヶ月が経とうとしています。私は入社してから三年間作楽荘に勤めていました。

作楽荘では初心者ということもあり介護の基礎を一ヶ月間先輩から指導を受けました。ス楽荘では経験者ということもあり短い期間で業務など覚えなくてはならず少し苦労しました。

作楽荘では一階の食堂にいる大勢の入居者を二人の職員で見守りをしてるので急な対応があっても協力しながらできましたがス楽荘は一ユニット十人の入居者を一人の

職員で見守りをします。

一人で瞬時に判断しなければならず優先順位をつけることが難しかったです。トイレに入ったのを見ては急いでトイレに行き介助する。その最中に椅子から立ち上がった方がいれば付添いに行くなどケアが重なるためまだまだ焦ってしまいましたが、作楽荘で学んだことを生かし、ス楽荘でも一人一人に沿った生活を支援していきたいと思っています。



ゆったりと食事

ベルビューハイツ

○小さな植物園

事務員 永田 恵里



空きスペースを利用

老人保健施設ベルビューハイツの正面玄関の横、ちょうど談話室のガラス越しに小さな観葉植物の植木鉢栽培したものを並べています。これは、デイケアのご利用者が、自宅にて丹精込めて育てていたものを、是非施設に来た皆さんにも見てもらいたいとの強い希望で展示させていただきました。サボテン類や観賞用に育

てた様々植物などです。

入所者のご家族の方から、「素敵な観葉植物ですね！おばあちゃんも自宅で栽培していたから、この談話室で少しの間鑑賞させて頂いてます」とのお言葉を頂きました。



手入れも抜きかりなく

事務の職員もその言葉に、「毎日の手入れを欠かせないね」「殺風景だった玄関回りも明るく見えるね」「季節を感じてもらえるようにしましょう」と、意気込んでいます。立ち寄りましたら是非ともご覧ください。

○自力排便を促すために

介護士主任 鈴木 祐子

来年二月の愛知県老健大会で発表するため、私たちは自然排便をテーマに、研究に取り組んでいます。

現在便秘傾向の入所者の中で、日頃下剤を服用していても排便を促すことが難しい方がいます。

便が硬い、お腹に力が入りにくい等理由はありますが、下剤による不穏行動をなるべく避け、穏やかにそして自然に排便できるように医師である施設長や看護師らと相談し、特別なものを使わず、家でも実践できるものを使い、確実に実行できる方法をスタッフと話し合いました。

排便を促すために毎日

抵抗なく口に入れられるものとして、野菜ジュース・プーアール茶・オリブオイルの三つが候補に挙がりました。それぞれの便秘の効果をネットなどで調べ、その中より継続できるであろうものを再度話し合い、野菜ジュースを飲用することとしました。排便の効果と、便の様子をチェックし、期間中の変化をみていくことにしました。

最初のうちはあまり変化が見られませんでした。が、続けていくうちに少しずつではありますが、自力での排便回数が増えてきたため、期待が大変膨らんでいます。大会までにはしっかりと纏めたいと思います。

DSC吉かわ

○令和の秋

介護士 奥山 景子

吉かわの畑で大きく美味しく育ったサツマイモを園児と一緒に掘り出し、実りの秋を迎えた十月十九日。恒例の紅白運動会を開催しました。

天井から世界の国旗がはためき、選手宣誓の聲が響くと、さあ！競技の始まりです。玉いれ・大玉送り・紐引きに借り物競争と盛りだくさん。普段はあまり伸びない手や上がらない腕も、今日に限っては動きが良いようです。重たいお尻も軽々上がります。一番力が入るパン食い競争では今日のおやつをゲットするため、大きな口をあけて『ガ



まだまだ頑張れるぞ！

ブリ』と食らいつく方もみられ、応援している方々も大笑い。皆さん、真剣勝負で勝つために一生懸命でした。そして、運動会は無事終了し表彰式となりましたが、赤が勝っても白が勝っても大きく温かな拍手。ピーンと張り詰めた空気も柔らかか。もっともっと利用者さんと楽しい時間を過ごしたい私たち職員は、次の行事の準備へと向かいます。お楽しみに！

麗楽荘

○表敬訪問

介護士 篠宮 純子

九月十九日の木曜日に、穂積亮次新城市長が麗楽荘を訪れ、百歳以上の入所者をお祝いして頂きました。

今年は麗楽荘で六名の方がみえられ、最年長は百五歳の男性の方。前日も麗楽荘での敬老会において、長寿代表として凛とした姿で立派に勤めてくれました。

市長から賞状・花束・色紙・金一封、百歳の方には銀杯が贈られ、その後は市長と穏やかに会話されている姿がとても印象的でした。また、職員からもこの日のためにご長寿の方一人一人にお祝いの言

葉を色紙に綴りました。

時間が進むにつれて皆さんの体力が心配でしたが、寝てしまつて市長とお話できないかなとヒヤヒヤでした。そのために「今日は特別な日だから」等々、声掛けをいつもよりもたくさん工夫し、その甲斐あつて、皆さんの最後の写真撮影までしっかり笑顔で起きていてくれました。

家族の方とも良い表情で撮影が出来るようサポートさせて頂きました。その時間は幸せで満ち溢れていたような気がしました。

長寿の秘訣はよく寝て、ご飯をしっかり食べて、よく笑うこと。皆さんから教えてもらいました。

デイサービス麗楽荘

○加圧トレーニング体験

介護士 中島 正江

今年の十月始めに加圧トレーニングの先生がご指導に来てくれました。

加圧ベルトで血流を制限して運動した後、ベルトを緩め、血行を良くするというトレーニング方法です。初めての体験ということで利用者の皆さんはワクワクされており、機械やベルトを使用したトレーニングに大変興味深々でした。

体験では先生が、お一人お一人の症状に合わせてベルトや適切な運動を選び、笑顔でお話を交えながら楽しく指導してくれました。

体験後の感想をお聞き



優しい先生と楽しく運動！

すると、「運動中は大変だなあと思ったけど、歩いてみたら足が軽くなった気がしたよ」と効果を感じた利用者もいれば、「良く分からなかった」と言う方もおり感想は様々でした。

いつまでも元気に自分の足で歩けることはとても重要なことでありますので、これからも色々な情報を集めて利用者の皆さんの健康維持に努めていきたいです。

和光ハイム

○オバケかぼちゃ

事務員 四丸 奈緒美

和光ハイムにオバケかぼちゃがやってきました。大きさはなんと、男性二人がかりで運ぶのがやっとの巨大サイズです。持って来て下さったのは入居者さんのお兄さん。

「大きいかぼちゃを飾ってくれるかね？」とお話を頂き、いざ運びこまれたらびつくりです。

テレビでは見た事がありますが、こんなに間近で見るのは初めて。

「わあ、大きいねえ。どうしたの？」「何キロあるんだろう？」「私より重いかなあ？」皆さん驚きを隠しきれません。

それもそのはず。身長



何キロあるでしょうか？

58 cm、腹囲170 cm、体重は何と56.7 kg。

但し、この「オバケかぼちゃ」は食べられないのが残念でなりません。少し手を加えて可愛く仕上がりました。しばらくの間、皆さんの話題は当然かぼちゃ。今ではすっかり和光ハイムの一員です。

趣味で作られているとは言えすばらしい。来年も是非お願いしましょう。

GHうらら

○作品展に出展しました

介護士 今泉早央里

10月10日、豊川市平尾町の『ゆうあいの里ふれあいセンター』にて行われていた文化展に行つて参りました。

行く道中ゴルフ場を通るときには、「昔はよくここに通つたよ」と嬉しそうに入居者さんが教えて下さいました。

ようやく現地に着くと、さっそく他施設の作品を鑑賞されていました。これは「どうやって作っているんだろう?」「これは何だろう?」などと、会話をしながら興味深く作品を見て回っていました。そして、当事業所が出品した展示コーナーで



作品お前でハイポーズ

はB紙に入居者さんが制作している様子の写真が飾つてあり、「あっ!私がおられ、また、作品のコットンボールツリーを見ると、「私が作ったボールはどこにある?」と競つて探していました。最後には「やっぱり自分達で作った作品が一番だね!」と自画自賛されていました。

頑張つて皆さんと作つてよかったと思いました。

奇楽荘

○「安全に食べる」とは

介護士 桑山恵利

9月27日、事故防止委員会の荘内研修として、ベルビューハイツの本田ST(言語聴覚士)に、「高齢者の摂食嚥下障害について」と題して講演して頂き、地域の方、麗楽荘職員や入居者の方も参加してくれました。

内容は摂食・嚥下器官の機能と構造、それに対するリスクとその予防や工夫についてでした。



荘内研修講風景

講演はユーモアを交えながらもSTならではの専門的視点から考察されており、大変勉強になりました。また、ある事例では、介護者側のほんの少しの気のゆるみが大きなトラブルや、場合によっては裁判になりかねないとの話に、改めて身が引き締まる思いでした。

この講演を通して自身のケアを振り返ると、幸いにも大きな事故に遭遇したことがまだありませんが、逆を言えば「その事故の本当の怖さを知らない」ということであると気づかされました。

どのような介助を行えば安全に安心して食べていただけるのかを念頭におき、事故には細心の注意を払っていきたいです。

GHきらら

○ハゼ釣りを満喫

介護士 横井佑二

9月27日、入居者さんの希望により豊橋市梅薨町浜田へハゼ釣りに出掛けました。

「懐かしいな、昔はよく行ったもんだ。教えてやるよ」と釣り場へ向かう車内ではハゼ釣り教室が始まりました。

釣り場へ到着。他の釣り人も多く、人気の釣りスポットでした。

川の水位が干潮で低く「投げられるかなあ…」と不安気でしたが、慣れた手つきで餌を付け、川へ向かって勢いよく投げられました。着水と同時に竿先がピクピクツ、「キ



昔の勘が戻ってきた

タ！キタ！」と驚きと歓喜の声が川辺に響き、見事にハゼをゲットする事に成功！「ハゼ釣りなんて久しぶりだもんで釣れるか心配だったけど釣れてよかったなあ」と感動されていました。それから入れ食いで100匹程釣り上げる事が出来ました。

釣ったハゼは新鮮なうちに調理し、唐揚げになって晩御飯に並びました。

哀悼

八田先生を偲ぶ

9月26日、89歳でご逝去された八田誠二元作楽荘荘長。平成2年4月から平成6年3月まで一誠福祉会に多大な尽力をされ、31年続く法人の土台を築いてくれました。

私が八田先生と呼ぶのは前職が教師であったからです。先生は独自で社内報を出したり、お年寄りと発泡スチロールをこけしの形に削り、千代紙を張って皆さんにプレゼントしたりと、ふれあいを大切にされていました。

たばことコーヒーが好きな背がすらっとした紳士でした。半年前、ひょっこりと施設に訪れ、あの手造りのこけしを持ってきてくれました。まさかそれが最後になるとは…。先生、心よりご冥福をお祈りいたします。

BVH 事務長 青山 勉



本部 日誌

令和元年9月

- 4日 愛知県法人指導監査(於作楽荘)
- 10日 荘内研修茶々倶楽部(於麗楽荘)
- 11日 本部会議(於麗楽荘)
- 12日 労働基準監督署監査(於作楽荘)
- 15日 荘内研修茶々倶楽部(於作楽荘)
- 26日 キャリアパス研修(於BVH)
- 28日 理事会(於TSK)
- 令和元年10月
- 11日 本部会議(於麗楽荘)
- 15日 木の花会職員旅行A班(16日)
- 16日 後援会豊橋(於吉かわ)
- 18日 キャリアパス研修(於麗楽荘)
- 22日 施設内研修茶々倶楽部(於BVH)
- 25日 木の花会職員旅行B班(23日)
- 29日 後援会新城(於麗楽荘)
- 木の花会職員旅行C班

作楽荘 日誌

令和元年9月

- 2日 音楽慰問(歌の輪会)
- 3日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)
- 4日 介護保険事業者講習会(於ライフポート豊橋)
- 4日 愛知県社会福祉法人監査(於作楽荘)
- 4日 スキルアップ研修④(阿部 於日本福祉大学 名古屋キャンパス南館)
- 9日 給食会議
- 9日 ぶどう狩り(於岡崎三国観光農園)
- 11日 寿司祭り
- 13日 看護師研修(佐藤 於日本福祉大学 名古屋キャンパス南館)
- 14日 フラダンス慰問
- 15日 誕生日会
- 16日 生花クラブ(講師 林先生)
- 16日 長寿祝賀会
- 17日 愛唱歌慰問
- 18日 手芸クラブ(講師 味岡先生)
- 19日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)
- 20日 中堅介護技術研修②(大林・木村 於日本福祉大学 名古屋キャンパス南館)
- 20日 絵手紙教室(講師 神藤先生)
- 21日 愛知大学吹奏楽部慰問
- 25日 ピアノ演奏(全野先生)
- 26日 音楽慰問(おたまじゃくしの会)
- 27日 連絡会議

新任職員介護技術基礎研修②(小林 於日
本福祉大学 中央福祉専門学校)

令和元年10月

- 1日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)
- 2日 社会福祉法人実務研修会(後藤 於日 於愛 知県福祉会館 白壁庁舎)
- 3日 音楽慰問(おたまじゃくしの会)
- 4日 音楽慰問(歌の輪会)
- 5日 音楽慰問(あさがの会)
- 6日 柱保育園慰問
- 7日 バスハイク(豊橋動物園)
- 8日 介護・福祉専門の介護士セミナー(藤原 副 長 於 住友生命名古屋ビル1階 大会議室)
- 9日 本部会議(於 斯楽荘)
- 10日 給食会議
- 11日 ピアノ演奏(全野先生)
- 12日 手芸クラブ(講師 味岡先生)
- 13日 ガラス絵クラブ(講師 朽名先生)
- 14日 誕生日会
- 15日 音楽慰問(愛唱会)
- 16日 茶々倶楽部内研修(於 BVH)
- 17日 バスハイク(豊橋動物園)
- 18日 寿司祭り
- 19日 絵手紙教室(講師 神藤先生)
- 20日 音楽慰問(おたまじゃくしの会)
- 21日 連絡会議

美光ハイム日誌

令和元年9月

- 4日 書道クラブ(講師 岩田先生)
- 5日 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 6日 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 7日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 8日 ぶどう狩り(於 岡崎 三國観光農園)
- 9日 敬老会
- 10日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 11日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 12日 お達者クラブ(講師 青山ハウス長)
- 13日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 14日 音楽レク(第一興商)
- 15日 令和元年10月
- 16日 茶道クラブ(講師 西口先生)
- 17日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 18日 書道クラブ(講師 岩田先生)
- 19日 健康体操クラブ(講師 大須賀先生)
- 20日 華道クラブ(講師 田中先生)
- 21日 カラオケクラブ(講師 白川先生)
- 22日 日帰り旅行(うなぎファクトリー)

倶楽部日誌

令和元年9月

- 31日 お達者クラブ(青山事務長)
- 3日 介護保険指定事業者講習会(工藤 於 ライ フポートとよはし)
- 4日 茶処くらら
- 5日 運営推進会議
- 6日 パッチワーククラブ(Pちく)
- 7日 音楽療法
- 8日 倶楽部連絡会議
- 9日 習字教室(小嶋先生)
- 10日 Bユニット誕生日会
- 11日 くららまつり
- 12日 施設内研修会(事故防止委員会、各種外部 研修報告)
- 13日 愛老協スキルアップ研修(柳澤 於 日本福祉 大学 中央福祉専門学校)
- 14日 令和元年10月
- 15日 カフェくらら
- 16日 愛老協中堅介護技術研修(宮本 於 日本福 祉大学 名古屋キャンパス)
- 17日 Bユニット誕生日会
- 18日 パッチワーククラブ(Pちく)
- 19日 消防訓練
- 20日 リーダー会議
- 21日 倶楽部連絡会議
- 22日 習字教室(小嶋先生)
- 23日 木の花会職員旅行3班(日帰り)
- 24日 ギター演奏慰問

GHEKUSU日誌

令和元年9月

- 4日 茶処くらら
- 5日 Aユニット外食(スシロー)
- 6日 運営推進会議
- 7日 パッチワーククラブ(Pちく)
- 8日 グループ外出(ラグーナ蒲郡)
- 9日 音楽療法
- 10日 誕生日会
- 11日 倶楽部連絡会議
- 12日 習字教室(小嶋先生)
- 13日 くららまつり
- 14日 施設内研修会(事故防止委員会、各種外部 研修報告)
- 15日 R U N 伴参加
- 16日 令和元年10月

斯楽荘日誌

令和元年9月

- 2日 カフェくらら
- 3日 パッチワーククラブ(Pちく)
- 4日 消防訓練
- 5日 倶楽部連絡会議
- 6日 キャリアパス研修(湯浅 於 麗楽荘)
- 7日 習字教室(小嶋先生)
- 8日 ギター演奏慰問
- 9日 令和元年10月
- 10日 連絡会議
- 11日 介護保険関係事業者等連絡会全体会(神原 副 主任・村野・高島・伊藤 於 豊橋市公会堂)
- 12日 給食会議(於 作楽荘)
- 13日 身体拘束勉強会
- 14日 運営推進会議
- 15日 敬老会
- 16日 Bユニットミーティング
- 17日 ユニトリリーダーミーティング
- 18日 施設内現場研修
- 19日 連絡会議(於 作楽荘)
- 20日 令和元年10月
- 21日 Cユニットミーティング
- 22日 連絡会議
- 23日 ユニトリリーダーミーティング
- 24日 給食会議(於 作楽荘)
- 25日 コミュニケーション研修(加藤 於 日本福 祉大学)
- 26日 褥瘡研修(菅原 於 日本福祉大学)
- 27日 職員健康診断(於 タキカワ整形外科 クリ ニック) 11月1日
- 28日 第1回種別研修会(伊藤 於 水道局)
- 29日 連絡会議(於 作楽荘)
- 30日 おたまじゃくしの会
- 31日 感染症勉強会

ベルビューハイム日誌

令和元年9月

- 10日 職種別会議(堀内 主任 於 あいトピア)
- 11日 ケアマネ研修会(堀内 主任 於 ベルビュー ハイム)
- 12日 演奏慰問(愛知大学吹奏楽部)
- 13日 敬老会
- 14日 運営推進会議 堀内 主任 於 リハビリデイ ジ田方)
- 15日 連絡会議
- 16日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 17日 19日

DSC吉かわ日誌

令和元年9月

- 3日 介護保険指定事業者講習会(於 ライフポ ート 滝川)
- 4日 介護保険関係事業者連絡会(於 公会堂市 川)
- 5日 防災訓練
- 6日 敬老会
- 7日 季節の花週間(21日)
- 8日 BVH連絡会議(滝川 主任)
- 9日 演芸慰問(ひよこオンステージ)
- 10日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 11日 全体ミーティング
- 12日 28日

- 21日 車椅子ダンス(山吹里の会)
- 22日 温泉フェスタ(29日)
- 23日 職種別会議(社会福祉士(菅沼 福井 於 豊 橋市役所)
- 24日 音楽療法(へボの会)
- 25日 職員代表キャリアパス(麗楽荘)
- 26日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 27日 広域ケア会議 堀内 主任 於 あいトピア)
- 28日 職種別会議(保健師(山崎・羽田 於 あいト ピア))
- 29日 誕生日会

令和元年10月

- 1日 ナツメロを歌おう(電子アコーディオン)
- 2日 防災訓練
- 3日 ダンススタジオMAZE
- 4日 クラフト作成(日本レクリエーション協会)
- 5日 職種別会議(堀内 主任 於 あいトピア)
- 6日 運動会(入所・デイケア)
- 7日 ケアマネ研修会(堀内 主任 於 ベルビューハ イム)
- 8日 音楽療法(おたまじゃくしの会)
- 9日 温泉フェスタ(26日)
- 10日 連絡会議
- 11日 生け花3F(講師 佐藤先生)
- 12日 カラオケ(山吹里の会)
- 13日 自衛消防放水(於 石巻運動広場)
- 14日 青竹町祭礼
- 15日 誕生日会
- 16日 音楽療法(へボの会)
- 17日 職種別会議(社会福祉士(菅沼 於 豊橋市 役所)
- 18日 職種別会議(保健師(山崎・羽田 於 あいト ピア))
- 19日 30日

令和元年10月

- 10日 吉田方保育園慰問(歌とダンス)
- 12日 サツマイモ収穫
- 12日 吉川祭
- 14日 和太鼓慰問(鼓流)
- 14日 季節の花週間(19日)
- 15日 BVH連絡会議(滝川主任)
- 18日 習字教室(講師 佐藤先生)
- 19日 運動会
- 21日 演芸慰問(ひよこオンスステージ)

麗楽荘日誌

令和元年9月

- 3日 介護保険指定事業者講習会(鈴木副社長・今泉真主任・海野・嶋・金田於ライフポートとはし)
- 10日 給食会議
- 11日 新城市介護認定審査会(夏目主任)
- 11日 本部会議(於 麗楽荘)
- 16日 敬老会
- 17日 労力奉仕(はぐるまの会)
- 19日 敬老週間による、新城市長訪問
- 20日 連絡会議
- 23日 入所判定会議
- 23日 介護体験(愛知教員大学1名)27日
- 30日 介護体験(愛知教員大学1名)10月4日

令和元年10月

- 7日 介護体験(愛知教員大学1名)11日
- 8日 給食会議
- 10日 ノーリフトケア入門研修(日本福祉大学、出戸)
- 11日 本部会議(於 麗楽荘)
- 15日 木の花会A班旅行(16日)
- 19日 労力奉仕(はぐるまの会)
- 19日 あみや商事秋の大感謝祭「介護相談会」(20日)
- 23日 中堅職員研修(国本於愛知県社会福祉会館)
- 25日 連絡会議
- 26日 入所判定会議
- 26日 家族会

和光ハイム日誌

令和元年9月

- 2日 和の会
- 4日 ケアハウス施設長会議(代理相山於豊田福祉センター)
- 5日 体操教室(今泉先生)

令和元年10月

- 10日 お茶を楽しむ会
- 12日 寿司祭り
- 14日 給食会議
- 14日 地域医療講演会死に方の質(四九丸於新城文化会館)
- 16日 敬老会
- 18日 歯科健診(山本先生)
- 18日 体操教室(今泉先生)
- 19日 大正琴教室(西亀先生)
- 20日 連絡会議
- 24日 健康チェック
- 25日 書道教室(加藤美代子先生)
- 27日 生け花教室(加藤輝子先生)
- 30日 おやつ作り

令和元年10月

- 2日 歯科健診(山本先生)
- 3日 和の会
- 6日 体操教室(今泉先生)
- 6日 秋の運動会(麗楽荘・和光ハイム・GHうらら合同)
- 7日 親睦会
- 8日 給食会議
- 11日 生け花教室(加藤輝子先生)
- 11日 お茶を楽しむ会
- 17日 体操教室(今泉先生)
- 18日 大正琴教室(西亀先生)
- 18日 寿司祭り
- 19日 連絡会議
- 19日 あみや商事感謝祭(20日)
- 23日 書道教室(加藤美代子先生)
- 23日 愛知県社協高齢者部会中堅職員研修(相山於愛知県社会福祉会館)
- 27日 RUN伴
- 29日 健康チェック

GHうらら日誌

令和元年9月

- 10日 労力奉仕(はぐるまの会)
- 16日 長寿を祝う会
- 22日 第4回運営推進会議
- 22日 のんほいルロット
- 23日 おはぎ作り
- 29日 秋のドライブ 四谷千枝田
- 10日 文化展 ゆうあいの里
- 13日 大海祭り
- 17日 輪投げ大会 ゆうあいの里

令和元年10月

- 20日 矢部運動会
- 27日 のんほいルロット
- 31日 グループホームうらら運動会

奇楽荘日誌

令和元年9月

- 5日 パンドミー荘内販売
- 6日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 10日 栗拾い
- 14日 運営推進会議
- 16日 長寿祝賀会(於 麗楽荘)
- 20日 レインボーハウス荘内販売
- 24日 連絡会議(於 麗楽荘)
- 24日 防災訓練
- 26日 誕生日会

令和元年10月

- 3日 パンドミー荘内販売
- 4日 芋掘り
- 5日 J笑門訪問販売(毎週土曜日)
- 6日 合同運動会(於 麗楽荘)
- 17日 バスハイク(於 富岡コスモス畑)
- 18日 レインボーハウス荘内販売
- 24日 連絡会議(於 麗楽荘)
- 24日 誕生日会

GHやうら日誌

令和元年9月

- 3日 訪問診療(宇利ユニット)
- 5日 訪問診療(吉祥ユニット)
- 15日 ふるさと会館敬老会
- 16日 麗楽荘敬老会
- 19日 防災訓練・運営推進会議
- 21日 秋の交通安全週間・八名小学校運動会
- 22日 俺ん家食堂
- 25日 豊橋作品展
- 27日 ハゼ釣り
- 28日 のんほいルロット・俺ん家食堂

令和元年10月

- 1日 訪問診療(宇利ユニット)
- 3日 訪問診療(吉祥ユニット)
- 8日 健康麻雀
- 10日 文化展 出展
- 17日 連協輪投げ大会
- 20日 金魚品評会
- 21日 収穫祭
- 26日 くり畑の集い
- 27日 RUN伴・俺ん家食堂

編集後記

10月22日は国内外に即位を宣言する、「即位礼正殿の儀」が行われ、11月14日は夕方から翌日未明にかけて行われる天皇が一代で一度しか行われない大掛かりな神事「大嘗祭」が古式ゆかしく行われます。とても崇高な場面に立ち会え、繋がる歴史の素晴らしさに感動を覚えます。

さて、ラグビーワールドカップ日本大会で歴史に名を刻んだ「ジャパン」。こちらも大変感動を覚えたのは私だけではないと思います。「ワンチーム」で目標に向かい突き進む姿勢は、学ぶところが大きいにありですね。

一誠福祉会としましてはラグビー日本代表に負けないチームワークで今後も更に前進していきたいと思っています。(T・S)